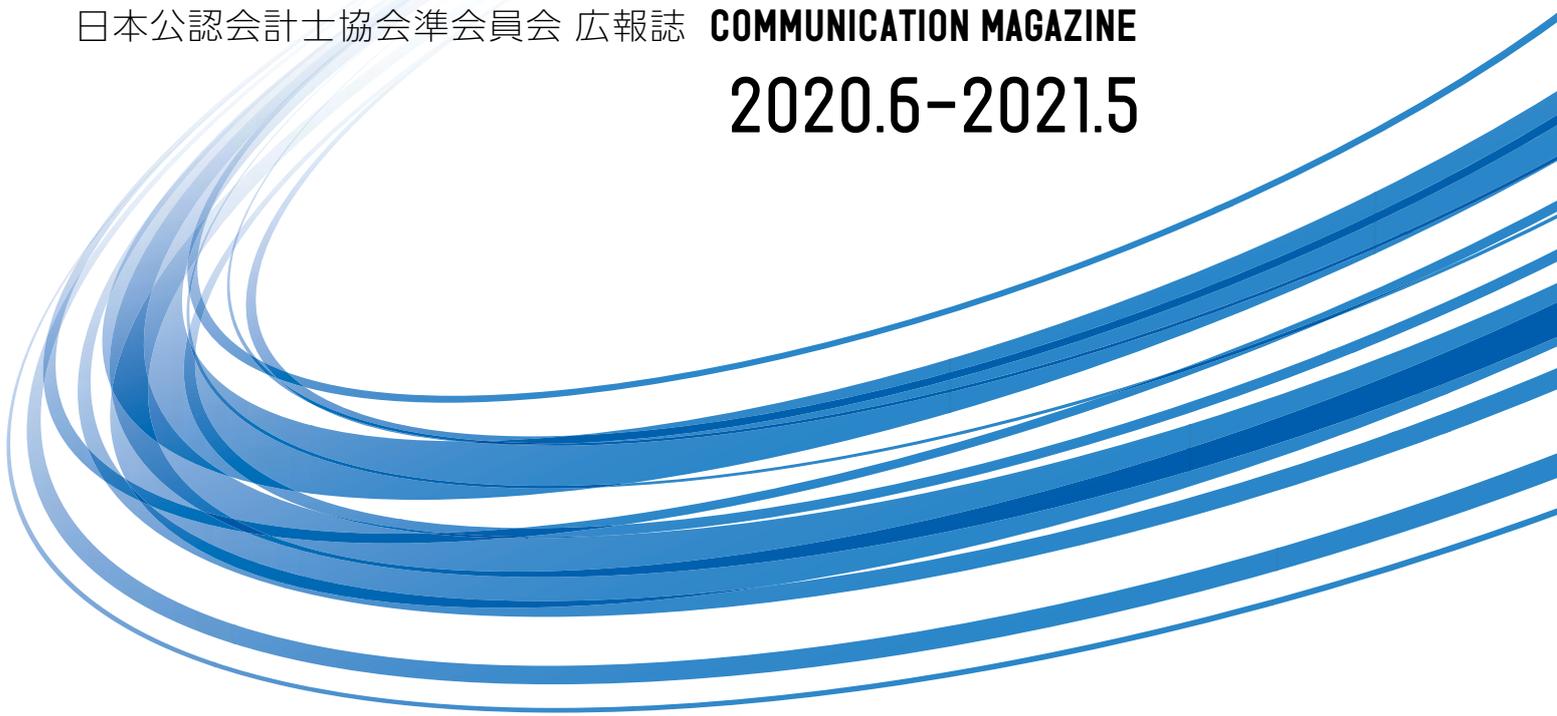




JIJA JOURNAL

日本公認会計士協会準会員会 広報誌 **COMMUNICATION MAGAZINE**

2020.6-2021.5



日本公認会計士協会準会員会とは

日本公認会計士協会準会員会とは、会計士補と公認会計士試験合格者（以下、併せて準会員）の6,780人（2021年10月31日現在）で構成される、オフィシャルな若手組織です。準会員会は、北海道分会、東北分会、東京分会、東海分会、近畿分会、中国分会、四国分会、北部九州分会という8つの地方分会から成ります。各分会の幹事は、準会員の資質の向上、準会員相互の交流および業界の発展に寄与することを目的として、主に以下のような活動を行っています。

1

講演会・勉強会や交流会などの準会員向けイベントの企画・開催

2

就活セミナーなどの公認会計士試験合格者向けイベントの企画・開催

3

主に高校生に向けて公認会計士を紹介する「そうだ、母校に帰ろう!」企画・開催

4

著名人や様々な分野で活躍されている先輩方へのインタビュー

5

海外の法人視察や海外で開催される研究大会への参加、[Global Journal]発行などの国際活動

6

活動報告を目的とした「JJA Journal」の発行をはじめとした広報活動

2020年度活動報告

2020年6月～2021年6月

2020年度に開催した活動の紹介は、当冊子の活動報告のページをご覧ください。

その他、過年度に実施したインタビュー記事や活動報告、今後開催予定のイベント等、準会員会の活動に関する様々な情報を準会員会HP(<https://www.jija.jicpa.or.jp>)に掲載しております。「準会員会」で検索ください。

JJA JOURNAL

2020.6-2021.5

CONTENTS

東京分会活動報告	4
近畿分会活動報告	9
その他分会	10
北海道分会	10
東北分会	10
東海分会	10
中国分会	11
四国分会	11
北九州分会	11
全国幹事会報告	12

JJA JOURNALとは

準会員会の活動報告、情報発信のためのコミュニケーションマガジン。準会員会では、掲載したものの以外にも様々な活動を行っています。詳しくは、ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.jija.jicpa.or.jp>



幹事活動を通じてできること

- **個人では困難な企画を実現できること**
準会員会の幹事は、組織として活動できることから、大きなイベントを企画することや、個人では接することが難しい相手へのインタビューなどができます。また、そうした企画を実現することは、大きな経験にもなります。
- **地域や年次を超えたネットワークができること**
幹事活動を通して、他の地域分会の準会員と交流したり、協会役員や各地域会の方々と交流する機会があります。こうした所属の壁を超えた交流という経験は、日々の業務に携わるだけでは得られない貴重なものにもなり得ます。

これから準会員になる方も、本業だけでは物足りなさを感じている準会員の方も、よろしければ一緒に幹事活動をやってみませんか。ご興味のある方は準会員会HPのお問い合わせフォーム、またはお近くの幹事へお問い合わせください。

HPへのアクセスは
<https://www.jija.jicpa.or.jp>から、
もしくは「準会員会」で検索を！



準会員会の組織について



分会活動報告



東京分会

2020
10/4

監査業務で使える！ Excelセミナー

Excelを壊す監査人、
壊さない監査人

2020年10月4日(日)に、Excelラボ代表の飯富先生によるExcelセミナーを実施いたしました。

今回はZoomでのオンライン開催となりましたが、210名以上のお申し込みがあり当日の参加者も180名という非常に多くの方に「ご参加していただき、過去に例を見ない参加規模となりました。」

本セミナーのメインテーマは、監査現場

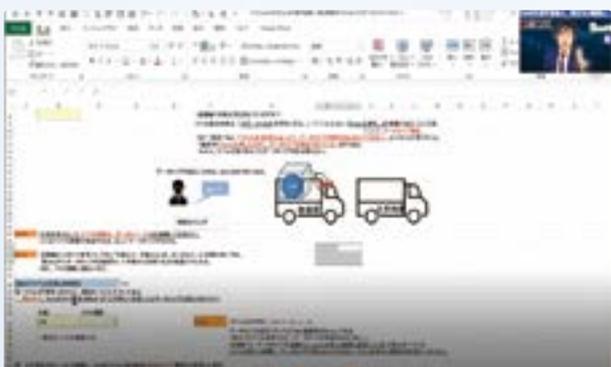
のExcel実務でよく起こる「ミス」のメカニズムについて、いくつかのテーマに沿って解説していただくというものでした。監査実務のExcelでは、様々な業種、規模のクライアントとデータのやり取りをするため、扱うデータの種類も様々です。そのため、フィルターやデータタイプ、名前定義の問題などで躓くことは日常的によく生じることと思いますが、そんな監査実務現場の喫緊の課題点と対処法について、先生に解説していただきました。今回、オリジナルの講座をご用意していただき、本セミナーでしか聞くことのできない内容となり、大変貴重な講座となりました。

飯富先生のテンポの良い解説と、オリジナルの講義用ファイルを使った講義の進行により、2時間の講義時間があっという間に過ぎてしまいました。

講義終了後には「Sii-do」による匿名の投稿形式で質疑応答の時間を設け、参加者からの全てのご質問に対し、丁寧な解説を行うことができました。

また、今回本セミナー後に、ご参加いただいた皆様からたくさんメッセージをいただきました。アンケート結果には「短い時間で幅広く学ぶことができた」「現場で起こりうる失敗ポイントが網羅されていてよかった」「業務により合わせた解説となっていた」など好意的な意見が多く見られ、監査実務においてExcelを積極的に習得することの必要性を感じている方が多いように感じました。

今後も準会員会では、会員・準会員向けに役立つようなイベントを開催したいと存じます。



末筆ではございますが、今回本セミナーの講義をしていただいた飯富先生、ご参加いただいた皆様に拝謝申し上げます。



2020
10/11

ビジネススタイルセミナー

2020年10月11日(日)、日本公認会計士協会準会員会東京分会では、一般社団法人日本スーツ大学代表理事である中村武雄氏をお招きして、「ビジネススタイルについて基礎から最新の知識までをご紹介する」「ビジネススタイルセミナー」を開催

いたしました。

正しい服装や正確な知識を学ぶことで、クライアントや上司から一目置かれ、仕事へのモチベーションを高める一助にできればと、東京分会では2017年度から毎年『スーツセミナー』を企画しております。

今年度は、「コロナ禍で広まりつつある在宅勤務を背景に、web会議での見せ方についてもセミナーの内容に取り込み、これからの新しい働き方にも対応した内容で企画いたしました。

今年度はオンラインでの開催も試みました。聴講可能人数の多いオンラインの特性を活用するため、『ビジネススタイルセミナー』と名前を変え、女性向けの内容も取り入れて、より多くの方にご参加いただけるよう配慮いたしました。

当日のセミナーでは、実際に身だしなみに気を遣うことで活躍の場が広がった、という公認会計士の経験として鮑和薫氏（EY新日本有限



責任監査法人）からお話をいただきました。また、鮑氏と運営スタッフとの対談形式で監査法人で実際に見受けられた服装の問題点を紹介していただきました。

服装の重要性を参加者の方々にご認識していただいた上で、中村氏の講義が行われました。具体例をふんだんに取り入れた講義内容は実践的なもので、参加者の理解が深まったようです。

今年度は先述したように、女性会員向けにフォトグラフィアの坂井なおみ氏にも講義をいただきました。坂井氏は、カメラを通しての見せ方にも知見が深いため近年広まっているweb会議における服装についても併せて講義をしていただきました。

当日はオンライン参加の方もいらつやり、オフライン・オンラインの同時開催という目的は達成されたように考えます。アンケート結果からは全員から「満足」以上という回答とともに「服装について指摘を受ける機会が殆どなかったため、ためになりました」「パソコンの位置によっては、相



手を上から見下ろす目線になってしまふことに、初めて気づきました」等の意見をいただきました。総じて今回の企画は、リモートワークで意識に上ることが相対的に少なくなった見た目の重要性について、改めて意識する一つのきっかけとなったのではないかと思います。



2021/1/9 公認会計士としての 独立開業・税務業務・会社 役員

2021年1月9日(土)、日本公認会計士協会準会員会東京分会では、芸能文化税理士法人会長を務めておられる山田真哉氏をお招きして、「公認会計士としての

独立開業・税務業務・会社役員」を開催いたしました。



公認会計士の魅力の一つにキャリアの幅の広さが挙げられますが、実際に幅広く活躍されている方の話を伺う機会は準会員にとつて限られています。そこで、独立開業して成功を収めている山田真哉氏をお招きして、独立開業、税務業務や会社役員といったキャリアについてパネルディスカッション形式でその魅力を発信していただきました。山田氏は『さおだけ屋はなぜ潰れないのか?』『女子大生会計士の事件簿』シリーズを執筆したベストセラー作家であり、現在は株式会社ブシロード社外監査役を務めるなど、多方面にわたる活躍をされています。

公認会計士の可能性を自ら切り開いてきた山田氏のお話から刺激を受けて、参加者の方々が将来を考えるきっかけになればと思いい、本セミナーを企画いたしました。本セミナーは2つのパートに分けて行いました。前半パートでは事前に運営スタッフの用意したテーマに沿ってインタビュアーと山田氏がパネルディスカッションを行いました。後半パートでは匿名で投稿できる「Squad」を利用して参加者から質問を募集し、その中から様々な質問に定みなくお答えいただきました。

また、今回本セミナー後に、「ご参加いただいた皆様からたくさんメッセージをいただきました。アンケート結果には「他では聞けない貴重な話を聞くことができました」「山田先生の話を聞きたくて集まったので、ライブ形式の質問は良かった」「独立された方のお話を聞く機会はありません、とても参考になった」など好意的な意見が多く寄せられ、参加者の皆様に「満足いただけるセミナーとなりました。」

今後も準会員会では、会員・準会員向けに役立つようなイベントを開催したいと存じます。

末筆ではございますが、今回本セミナーの講師をしていただいた山田真哉様、「ご参加いただいた皆様に拝謝申し上げます。」



2021
3/6

マーケティングセミナー

～経営者になるために～

3月6日(土)、マーケティングセミナー～経営者になるために～を開催し、会場、リモート合わせて28人の会員・準会員の方にご参加いただきました。

講師は、ブランドディングテクノロジー株式会社のCMOであり、中小・中堅企業向けのマーケティング支援に約10年従事されている黒澤友貴様にご登壇いただきました。

セミナーの前半では、公認会計士にマーケティング志向がなぜ必要か、そもそもマーケティングトレースとはなにかという基本的な部分からご説明いただきました。マーケティングトレースとは、黒澤様が提唱されているマーケティングスキルを向上させる手法であり、実際に成功・成長している企業がなぜ成功・成長しているのかを自分の言葉で言語化・構造化して分析することです。このように成長企業の成長・成功要因を模倣することにより、実務でどのようにマーケティングの手法を用いているかが分かるようになるため、経営者になりた方や経営者層にアドバイスをを行う方にとっては、非常に有用な方法であるとのことでした。

後半では実際にビジネスで成功を収めている企業のマーケティングトレースを、個人ワークとグループワーク(会場参加者のみ)を通じて実践形式で体験しました。また、ワーク後に会場参加者の発表及びフィードバックを実施し、他の方がどのよう

に分析をされているか共有するとともに、成功企業の成功要因は何かを黒澤様に解説いただきました。

最後の質疑応答では、分析者が財務諸表を実際にどのように利用しているか等についてもご説明いただきました。黒澤様はIR情報を全般的に見ているが、企業の将来の戦略が表れやすい広告宣伝費・人件費を特に見ているとのことでした。



セミナー実施後のアンケートでは、「マーケティングは論文式試験や実務補習所ですべての知識としては学習していたが、実務上どのように使われているか、どのように組み合わせれば有用な分析となるのかを理解することができて、非常に勉強になった」、「マーケティングにおいて、監査された財務諸表が実際にどのように分析・利用されているかを知ることができ、若手公認会計士として、仕事のモチベーション向上に

つながった等の感想が寄せられました。最後に、参加された皆様及び講師の黒澤様に厚く御礼申し上げます。



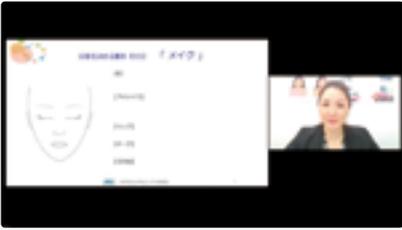
2021
3/13

女性会計士のためのメイク&スタイルアップセミナー

2021年3月13日(土)に日本公認会計士協会準会員会東京分会主催で開催いたしました、「女性会計士のためのメイク&スタイルアップセミナー」についてご報告させていただきます。本講義の講師は、以前開催いたしました「ビジネススタイルセミナー」にてご登壇いただきました、一般社団法人日本ビジュアル支援協会理事の

坂井なおみ氏です。イベント全体の流れとしては、第1部は印象管理に視点を置いたうえでの身嗜み全般に関する講義を、第2部では参加者様個々の悩みに応じた実践形式でのレッスンを開催いたしました。以下簡単ではございますが、各パートの内容となります。

第1部ではまず、オフィスファッションを購入する際のポイントをご教示いただきました。印象に作用するポイントや、着こなす際の注意事項も併せて伺う事ができ、ワードローブや普段の行動を見直すことの出来る良い機会となりました。ただ、勿論各人に対して抱く印象は、服装だけでは決まりません。本講義では印象を決める要素として、服装のみならず、各々の顔のパーツバランスやメイクに関しても採り上げていただきました。時に自分自身のパーツバランスをもとに他人が感じ取る印象を、各々の個性の一部として捉えていないでしょうか。各人が持つ個性と相手が感じ取る印象にギャップが生じることは十分あり得るかと思います。本講義では、埋めがたいと思われる当該ギャップ



に関する、工夫することでお互い出来ることにつき、事例を用いて分かりやすくご説明いただきました。

第1部では参加者全体へ向けた講義形式にて

ご説明いただきましたが、第2部では個別レッスンを中心とした講座となっております。当初、第2部は会場開催も視野に入れていましたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大により医療提供体制が逼迫している状況を踏まえ、第2部もオンライン開催とさせていただきます。オンライン開催ということでルームを分け、個別でレッスンを受けられるようにしましたが、参加者様からは「周りの目を気にせず気兼ねなく聞くことが出来た」「自分が苦手な部分に絞ってアドバイス貰えた」等、好意的な意見をいただくことが出来ました。一方で従前のように参加者全体で悩みを同時共有するという開催形式についてもメリットがあると思えますので、そのあたりの開催形式は模索出来ればと思います。



以上、本イベントに関する活動報告でした。視覚情報は他の五感から得られる情報より人に大きな影響を与えとも言われています。在宅勤務が増えたことで顔を合わせる機会が限られてしまっていますので、貴重な機会に相手が受け取る情報の一部が本イベントを通して好転できれば幸いです。

2021/3/21 マネジメントゲーム体験会 開催!

2021年3月21日(日)に、「マネジメントゲーム体験会2021年」と題し、1日がかりのイベントを開催しました。

今回は新型コロナウイルス感染症の影響により、緊急事態宣言が発令されていたため、募集人数を30名から20名に削つての募集でしたが、総勢18名の方々にご参加いただきました。

マネジメントゲーム(以下「MG」といふ)とは、1976年にソニー株式会社の子会社である株式会社キャリア・デベロップメント・インタナショナルで開発されて以来40年以上の歴史を有する体験学習型の企業研修で、現在でも「ソフトバンクアカデミア」などでの採用実績があります。

内容としては、参加者がそれぞれ製造業の社長になって、材料購入、製造、販売、製造販売効率や価格交渉力への投資といった

意思決定を行うゲームです。1期ごとに意思決定を数十回行い、期の終了時に決算を行います。最終決算時に最も自己資本の多いプレイヤーが勝利となります。また、意思決定の結果を記帳し、期の終了ごとに決算書を作成します。そのため、意思決定と資金繰りや財務諸表との関係がわかりやすくなっています。



MGはソニー株式会社の社内研修に端を発していることから、限界利益に注目するなど、より経営実務に近い視点で財務諸表を見ることも出来ます。

体験会ということもあり約半数の方が初参加だったため、まずMGについての簡単な説明を行い、ルール理解もかねて1期は決まった行動を行い、ルールの理解と決算書の作成方法がわかったところで、2期、

3期は通常どおりのゲームを行いました。

今回は、J2で一度ゲームを経験されたことのある人であっても、実際にプレイするのは久しい方が多いこともあり、前半戦はむしろJ1の方々が優秀な成績を残しており、波乱の展開になるかと思われましたが、後半戦では徐々に勘を取り戻されたJ2の方々が巻き返しを図り、結果として上位三名の内、一名がJ2の経験者の方でした。



今回のMGを通じて、経営に必勝法は存在しないものの、それぞれの置かれている環境に対する対応策というのは存在するのだと感じました。また、誰もが必勝法を知らない中、年次や立場に関わらず対等にゲームを楽しみ、他のプレイヤーの戦略を参考にしつつ共に学べるのが、机に向かう勉強では得られないMGのいいところであると感じました。

なお、本企画では、普段MGを主催、運営されている会援隊の方々のお借りして、体験会を実施いたしました。体験会を運営して下さった会援隊の方々には、この場を借りてお礼申し上げます。

2021
3/27

税務勉強会開催!

日本公認会計士協会準会員会東京分会では、2021年3月27日(土)にオンライン(Zoom)にて「税務勉強会2021」を開催いたしました。講師として、佐藤康治公認会計士・税理士事務所代表である公認会計士・税理士佐藤康治氏をお呼びし、ご講演いただきました。

はじめに、「令和3年3月期から適用の税制改正」として、2021年3月末に成立した「令和3年度税制改正」に関して、まずは全体像の解明から始まり、基本的な枠組みを示していただいた上で、法人課税や個人所得課税、消費税、国際課税といった個別論点の修正点や留意点をご説明いただきました。

法人税では経済成長を促すためのオープンインベーション促進税制や近年のDX推進を受けた5G投資促進税制といった新たな税制に関する概要の説明をいただきました。

税制改正は

既存税制の改正から上記のような新設箇所まで多岐にわたりに行われるため、毎年の改正のキャッチアップが必要不可欠であるとともに従来との変化がどこにあるののか的確に把握する必要性を感じた講義となりました。

次に、「組織再編税制の基礎と税務デューデリジェンス」として、組織再編税制の骨格から始まり、税務デューデリジェンスの概観をご説明いただきました。組織再編税制は1、2時間の講義で網羅できるものではありませんが、今回は抑えておくべきポイントとして、再編手法や適格要件、繰越欠損金の引継ぎ・使用制限等について復習し、税務デューデリジェンスへと進みました。税務デューデリジェンスに関しては、実際の業務では馴染みのない方が多いと想定されるため、そもそものM&Aプロセスにおける役割や目的、主な調査項目及び発見事項の取扱い等について、講師ご自身の体験を交えながらご説明いただきました。組織再編税制や税務デューデリジェンスは、実際の業務で取り扱う機会も少なからずか理解が難しい部分があるかと思いますが、全体的な流れや業務の雰囲気を感じ取ることができ、刺激的な講義でした。

当初は会場開催も視野に入れておりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴いオンライン開催の運びとなりました。休日にも関わらず参加いただいた方々にとっては、3時間があっという間に過ぎるような盛り沢山で有意義な時間になったと思います。当日の参加人数も67名となっており、過年度から継続している税

務勉強会の中でも、とりわけ多くの方々に参加をいただきました。

税務業務は、クライアントのキャッシュフローに重大な影響を与える重要な業務である一方、日常的に従事しない場合、税務の知識は意識的に学習しなければキャッチアップできません。今回の勉強会はそのように不足しがちな税務の知識をアップデートするだけでなく、税務業務自体への興味を喚起する良い機会となったのではないかと思います。





近畿分会

2021
1/17

論文受験生向け 「Excelを使った監査 体験」

公認会計士試験論文式試験を終えられた受験生を対象に2021年1月17日(日)、Excelセミナーを開催いたしました。公認会計士が数値を扱う職種である以上、Excelは業務に励むうえで必須のビジネススキルといえます。そこで、実際の業務で得た知識や経験を基に公認会計士として習得すべきスキルについてお伝えすることで、受験生の持つスキルと監査実務との乖離を少しでも縮めることができればと思います、「この度開催の運びとなりました。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、Zoomを用いたリモートにて実施をいたしました。

セミナーでは本会メンバー進行のもと固定資産の調書の作成まで行いました。具体的には、前期数値との比較、請求書との証憑突合等、J1が期末監査に従事する上でまず直面する調書形式へのデータ加工をテーマに扱いました。途中、参加者から適宜質問も行われ双方方向のコミュニケーションが行われていました。セミナーを終えた後の参加者の感想は以下のとおりです。

「実際に監査実務で使われるExcelを体験でき、とても有意義な時間を過

ごせました。」
「オンライン開催だったので、質疑にあたるコミュニケーションが取りづらかった。」

「実際の監査調書のイメージが湧きませんでした。」

監査実務に対する理解が深まったとの感想を多くいただき、我々の掲げた受験生の知識と監査実務とのギャップを埋めるという目標を概ね達成できたといえます。しかし一方で、リモート開催についての受験生の不安・不満等の課題を再認識する機会になりました。受験生に近い立場として、これらの課題を解消し引き続きサポートを行っていきたいと思っています。

2021
3/27

準会員若手向け Excelセミナー

全国幹事会にて本会メンバーが当時の北部九州分会のメンバーとお話する中で、近畿・北部九州の準会員の交流のために何かイベントを開催することができないかということ、北部九州分会との共催のもとJ1を対象に2021年3月27日(日)、Excelセミナーを開催いたしました。各分会員の交流を深めること及びExcelの原理原則をお伝えすることでExcelの基礎を身に付けてもらい、

監査実務に生かしてもらうことを趣旨としています。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、Zoomを用いたリモートにて実施をいたしました。

セミナーでは、最初に本会メンバー進行のもとExcelの基礎的な考え方をレクチャーし、実際に演習問題を解くといった基礎の定着を目的とした内容でした。具体的には、セルとバリューの理解、特定科目の金額を抽出した上で表の作成等、Excel基礎を理解するところから定着するために実践問題を反復することをテーマに扱いました。途中、参加者から適宜質問も行われ双方方向のコミュニケーションが行われていました。セミナーを終えた後の参加者の感想は以下のとおりです。

「エクセルの操作から監査ではこうやって実践するという演習までして頂けたため大変有意義であった。」

「このセミナーによってExcelに益々興味をもりました。」

「実務に生かせるよう自己研鑽に励みます。」

Excelへの理解が深まったとの感想をいただき、私たちの掲げたExcelの基礎を身に付けてもらうという目標を概ね達成できたと思っています。これからも全国幹事会の他分会メンバーとの交流を深めていきたいと思っています。



大阪湾／大阪府

その他の地域分会活動報告

2020年度は新型コロナウイルスの流行により、準会員会の地域分会でも様々な活動に制約を受けることになりました。オンラインを中心にイベント等実施できた東京・近畿分会を除く各地域分会の2020年度状況と2021年度(本年度)に向けた取り組み等を報告いたします。



北海道分会

2020年度はコロナ禍のため、北海道分会でも例年行っているイベント等を実施することができませんでした。

2021年度に入り北海道分会では、実務補習生全員を対象に「税務特別研修会」を2021年7月11日(日)に行いました。本研修は「(不得手とされる)税務の基本的知識を学びそれを実践してみよう」をテーマに公認会計士である池田祐一先生と池脇竜太先生にお越しいただき研修会を開催いたしました。まず池田先生より近年の修了者查での税務の出題傾向をお話いただき、その後法人税の各論

講義、特に組織再編税制など特に補習生が不得手とする論点をピックアップして講義していただきました。続けて池脇先生より「税務申告書である別表の構造について講義いただきました。午前中から午後にかけての長時間講義でしたが先生方の分かりやすい講義のおかげもあって補習生は皆とても真剣に講義を受けていました。

最後になりますが、税務特別研修会にあたり準備にご協力いただいた日本公認会計士協会北海道会事務局の皆様には厚く御礼申し上げます。



東北分会

2021年度東北分会は、監査法人所属1、2年目を中心としたメンバー10名で活動していくこととなりました。過年度においては異業種交流会や公認会計士試験受験生への制度説明会など東北分会外部への広報活動を行ってまいりました。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響からそのような外部イベントの開催は簡単ではないことを踏まえ、当年度は東北分会内部の交流を深めることを中心に活動を予定しております。公認会計士業界全体として在宅勤務の比率が高まっている現状において、職場内でのコミュニケーションが希薄になっていることが想定されます。そこで、東北分会では、オンラインを活用した懇親会等を実施することで所属監査法人以外にもネットワークを作り、気軽に悩みやキャリアの相談ができる場を増やしたいと考えております。



東海分会

例年、東海会においては、弁護士等の専門家と会計士の交流の場として異業種交流会を行っていました。異業種交流会では、普段の仕事で関わる事が少ない業種の方と話をし、新しい知見を得ることや今後働いていく中でその繋がりを有効に活用していくことを目的として実施してまいりました。また、合格発表後には事務所関係なく交流が持てるよう、新人歓迎会を行ってまいりました。新人歓迎会に参加いただいたJ1の方からは、他法人の先輩と関わりを持つことができてよかったですと好評を頂いておりました。昨年度は、新型コロナウイルスの感染拡大を鑑み、これらのイベントを中止いたしました。準会員東海会の周知と新人歓迎の意味を込めて新J1に筆記具を贈呈しました。



札幌市時計台 / 北海道



中国分会

毎年恒例行事となっております弁護士会とのフットサル交流会を2021年9月5日(日)に開催する予定でしたが、当初予想していたよりもコロナの状況が悪化してしまい、実施予定日に広島が緊急事態宣言の対象地域であったという状況からやむなく中止となりました。昨年もコロナで中止になってしまったためこれで2期連続での中止となります。個人的には運動不足を解消するチャンスと楽しみにしておりましたので非常に残念な結果となってしまいました。来年は試合後の懇親会も含めて無事開催できることを願っております。

最後になりますが、お忙しい中で参加を希望してくださったフットサル選手の皆様に厚く御礼申し上げます。



四国分会

四国分会は、総勢31人の小さな分会です。

前年度は新型コロナウイルス感染症の流行により、過去に開催していたようなJ1歓迎会等の主だった活動はできませんでした。

当年度につきましても、依然流行終息の見通しが立たないことから、現状大きなイベント等の開催は予定しておりません。とはいえ、限られた準会員の期間における貴重な交流の機会ですので、この機会を絶やさないためにも、他の分会の活動実績を参考にさせていただきながら、状況を鑑みて可能なことから活動に励んでいく所存です。

北部九州分会

2020年度はコロナウイルス流行の影響で例年実施しているJ1歓迎会は実施できませんでした。一方で公認会計士試験に合格して九州実務補習所および近畿実務補習所に入所し、現場で働き始める前の方々を対象に、近畿分会と北部九州分会の共同でExcel研修を実施いたしました。コロナウイルス流行の影響で在宅勤務が増えてExcelテクニックを直接先輩から学ぶ機会が減っている中、公認会計士試験合格者に必要なExcelテクニックについて演習時間を長めにとりて研修を行いました。現場で実務に取り組む前に監査法人などでよく使うExcelテクニックについて事前に一通り知っておくことにより現場で落ち着いて業務できたのではないかと思います。

2021年に入り、2020年度に北部九州分会へ入所したJ1を対象に、準会委員会及び全国幹事会についての説明をすることもExcel研修会を実施しました。(参加者17名)

2021年度については例年実施している歓迎会をコロナウイルスの状況を見て開催できればと考えています。

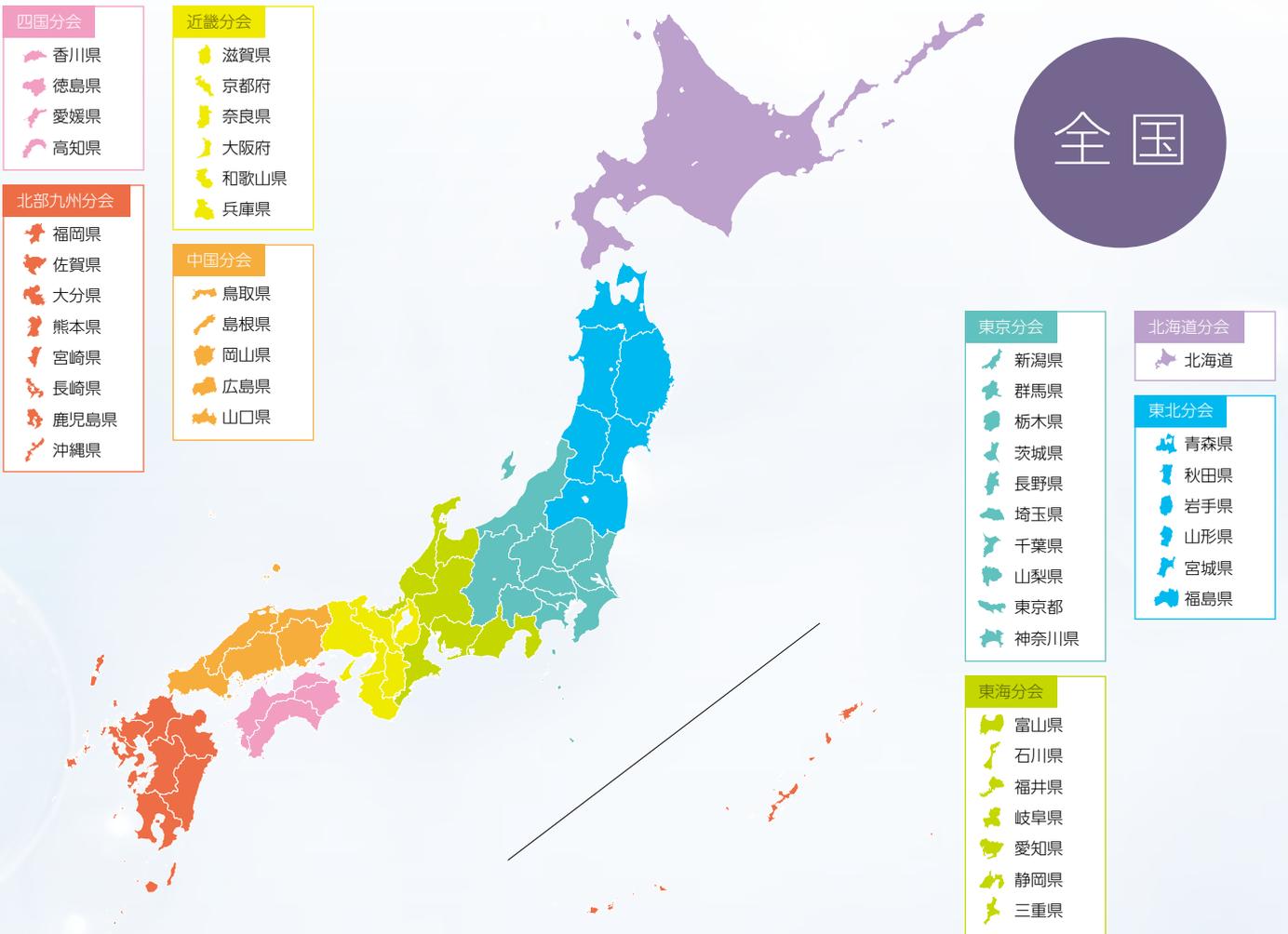


厳島神社 / 広島県



太宰府天満宮 / 福岡県

全国



2020
11/21

全国幹事会

2020年11月21日(土)に、全国幹事会が実施されました。年に3回程度実施される全国幹事会は執行部報告、各地域分会から活動報告を行う重要なイベントです。

従来、全国幹事会は1会場に全国の準会員会幹事が集合して行われていましたが、昨今のコロナ禍の影響で6月に開催した前回に引き続き今回はTeamsなどを用いたリモートでの開催となりました。(東京分会等一部個別に会場を確保し、十分なコロナ対策を行った上で開催した地域分会もありました。)

6月のリモートでの全国幹事会では半日での開催、また報告事項のみとなっていました。今回は1日かけて実施し、単に報告事項のみならず、ディスカッションや懇親



会といった交流や討議も行うことができました。

午前の部は日本公認会計士協会常務理事の鶴田光夫様よりご挨拶をいただき、その後執行部からの報告として代表幹事報告、財務委員長報告、広報委員長報告、国際委員長報告、全国プロジェクト報告を各委員より行いました。

次に各地域分会からの報告と予算執行についての報告がありました。今年は東京分会を中心にオンラインのイベントが増えたものの、全体としてはコロナ禍の影響でイベントの開催が少なくなり、予算の執行が少ないのが顕著となっています。

最後に執行部の業務紹介、2021年度執行部募集のお知らせがあり、午前の部は終了いたしました。

午後の部は準会員会幹事間での懇親を中心に進行しました。ディスカッションのテーマとして、「コロナの影響でこれまでの海外視察などが行えない状況となっております、今後国際活動をどのように行っていくか」についての話し合いをグループに分かれてディスカッションを行いました。

また、リモートコミュニケーションを深める一環として、リモートでもできるゲームを通じて、全国の各地域分会の皆様と交流を深める企画を実施しました。全国幹事会終了後実施した懇親会でもこのリモートでのゲームを実施し、全国の各地域分会の皆様との交流を引き続き深めることができました。

次回の全国幹事会は2021年2月に実施予定となっております。コロナ禍の影

響により対面で集合し開催していくのが引き続き難しい状況となっており、今回の全国幹事会を対面で実施できるかは現時点ではわかりませんが、今回の全国幹事会同様に引き続き工夫を凝らし、全国各地域分会の皆様との交流を深めることができる機会を設け、準会員の皆様に役立つようなイベントを企画できるようにしていきたいと思っております。



2021
3/7

全国幹事会

去る2021年3月7日(日)、準会員会全国幹事会が開催されました。

全国幹事会とは、準会員会執行部の主催により、普段各分会で活動している準会員会幹事が一堂に会し、執行部・各分会の活動報告による情報共有や、各分会で活動する幹事同士が交流し、親睦を深めることを目的として開催される会合です。

新型コロナウイルス感染症の拡大前は、全国幹事会が年3回(2月・6月・10月)実施され、開催地は6月が東京、2月・6月は毎年執行部の判断で選択されてきました。昨今のコロナ禍においては、感染拡大を防止するため、Microsoft TeamsやZoomを用いたリモート会議を前回の11月の全国幹事会から取り入れております。

今回の2021年3月の全国幹事会もMicrosoft Teams及びZoomにて開催いたしました。

午前は代表幹事・各委員長・各分会長による報告、午後からは全国プロジェクトとしてのスーツセミナーの実践、今後の全国プロジェクトの立案と進行していきましました。

午前の部ではコロナ禍の中で、例年行っていたイベント活動の中止を余儀なくされている各分会の活動報告が詳細に行われました。改めて昨今のコロナ禍による影響、特に準会員会のリフルト活動への影響の大きさを各分会で共有しております。一方で、

リモートによるイベントの活動実績も報告され、コロナ禍における新しい活動の在り方として、成功事例を横展開していく可能性についても報告がありました。

午後の部では、東京分会で行われたスーツセミナーをオンライン方式により全国幹事会の場で実際に行うことで、オンラインに方式によるイベントの可能性を各分会員で共有しております。

今後の全国プロジェクトの立案もオンラインイベント事例の積み重ねという観点から、企業再生実践1dayワークを企画しております。オンラインで全国の幹事が集まるイベントを積み重ねることで、全国の幹事間の交流を深め、今後のイベントに向けて協力体制を構築していくことを確認しております。

こうして全てのプログラムが完了し、無事今回の全国幹事会は終了しました。

2021
6/19

全国幹事会及び通常総会

2021年6月19日(土)、準会員会全国幹事会が開催されました。今回も前回同様Microsoft Teams及びZoomを使用したオンラインでの開催となりました。

午前の部では、各委員長及び分会長の報告とともに新執行部が紹介されました。



(イメージ)

また、代表幹事に1名立候補があり承認されました。

日本公認会計士協会準会員会は代表幹事3名を中心に、準会員会の資質向上並びに準会員同士の交流を深められるよう、これからも様々なイベントの企画・運営を行いたいと思っております。

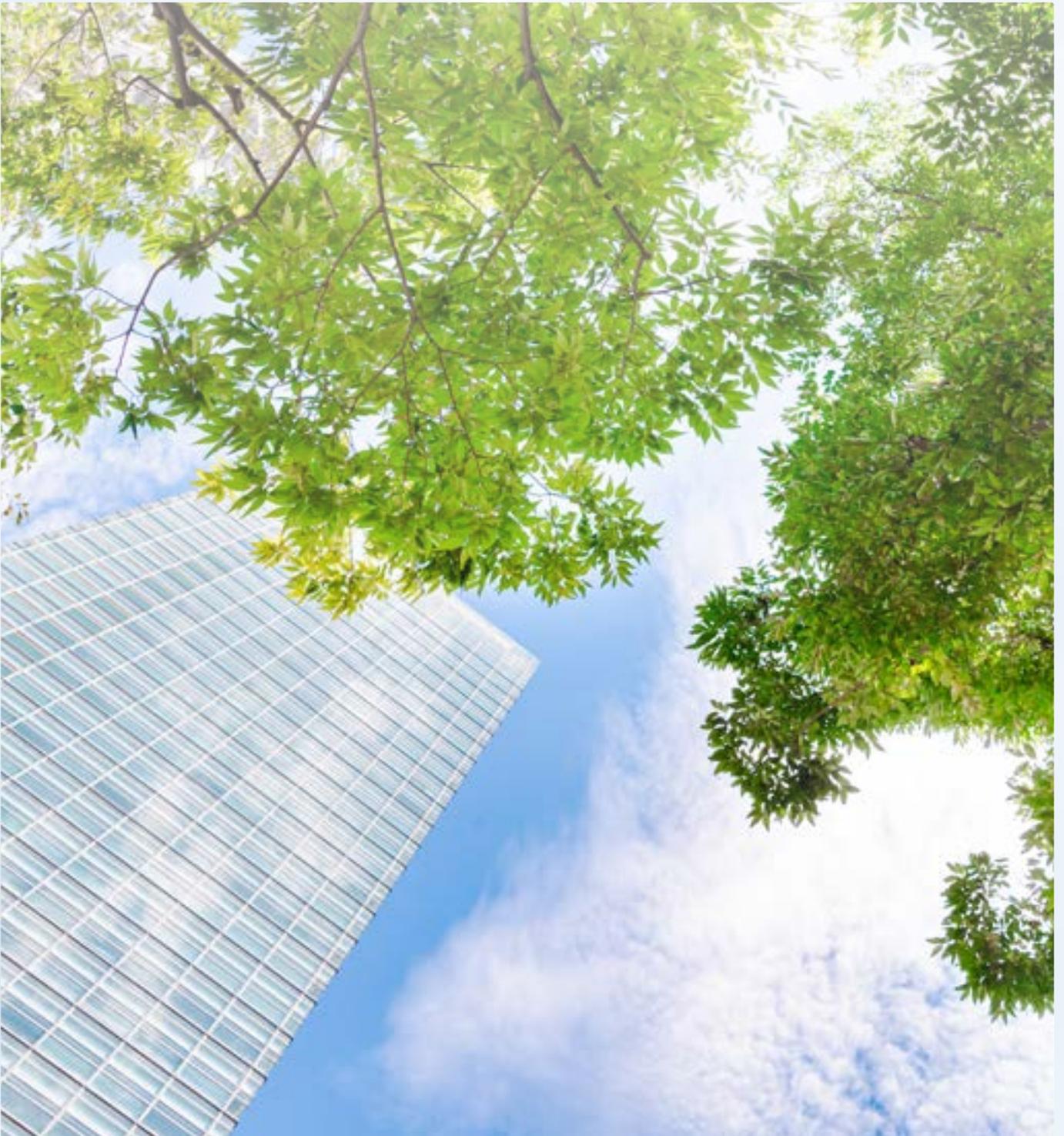
午後の部では、通常総会が行われ、日本公認会計士協会会長手塚正彦様より「公認会計士というブランド・将来展望」というテーマで貴重なお話を頂きました。公認会計士というブランドは公認会計士になる前の準会員の段階で備えておくべき価値等があり、特に変化に適応し、適切に考え実行することが大切であることを改めて認識いたしました。

また、午前中に承認された新執行部の

正式承認と決算報告及び予算案の承認を行いました。2020年度決算は前年の新型コロナウイルス感染症の影響により、イベント数が減少してしまったこと、オンラインイベントの開催が中心となったため、当初予算よりも大幅に少ない決算となったことが報告されました。2021年度は感染症対策を万全にし、オフラインでのイベント・オンラインイベントの充実をさせたいと考えております。

また、例年、海外視察報告のため発行しているグローバルジャーナルについて、前年度、海外視察が困難であったことから2021年版は発行できないこととなりました。2021年度はオンラインでのインタビュも視野に入れ、コロナ禍でありながらも、準会員の国際意識を高めていければと思っております。

最後に、前年度のイベントに協力してくださった皆様、予算執行・全国幹事会の運営でお世話になっている日本公認会計士協会の皆様に感謝申し上げます。



編集スタッフ

森田 湧貴
佐藤 匠
東風谷 祐斗
柴下 はるな
眞野 義啓
今井 康人
櫻田 智也
瀬谷 明裕
鈴村 智生
畝岡 純平
竹内 将人
大西 真圭
増田 貴之
金子 千尋

皆様へのご案内

準会員会東京分会では幹事を募集しております。
準会員会幹事の活動は、普段出会うことのできない人との
つながり、新しい経験を通じた大きな成長の機会を与えて
くれます。未来の公認会計士として無限の可能性を持つ皆様と
共に活動できることを楽しみにしております。

準会員会広報委員長 金子 千尋

日本公認会計士協会準会員会東京分会

■ お問い合わせ

tokyo@jija.jicpa.or.jp

■ WEB

<https://www.jija.jicpa.or.jp/>

